

科目名		授業形態	担当教員名	
生活環境学		講義・演習	前川 加奈	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
高齢者や障がい者の在宅環境をリハビリテーションの視点で理解することを目的とし、住環境整備、福祉用具について講義を行う。人間の活動と環境の相互作用を理解し、演習を交えながら高齢者や障がい者の生活支援のための生活環境評価、住環境整備の方法、福祉用具の活用について具体的理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 住環境整備、福祉用具の基礎知識が理解できる 2. バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解できる 3. 生活環境整備の流れ、評価、基本的手段が説明できる 4. 福祉用具の種類、適応について説明できる 5. 生活環境の整備や福祉用具に関わる制度について説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	生活環境学総論 住環境整備総論			
2	住環境整備の基本1			
3	住環境整備の基本2			
4	部屋・場所別環境整備の方法1			
5	部屋・場所別環境整備の方法2			
6	福祉用具総論（目的、支援の流れ、評価）			
7	福祉用具1			
8	福祉用具2			
9	福祉用具3（演習） 福祉用具の実際			
10	福祉用具4（演習） 福祉用具の実際			
11	住環境・福祉用具の実際1			
12	住環境・福祉用具の実際2			
13	地域環境のバリアフリー化、IT機器・ICTとリハビリテーション			
14	生活環境の整備・福祉用具に関わる制度			
15	生活環境学のまとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点	5%	講義録提出		
その他	25%	課題・演習を複数回実施する。それらの発表・提出物・取り組む姿勢等を評価する。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載	随時資料配布			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学専門分野 日常生活活動・生活環境学 第6版		鶴見隆正・隆島研吾 編集	医学書院	
福祉住環境コーディネーター検定試験2級・3級公式テキスト		東京商工会議所（編）	東京商工会議所	
自由記載				
備考				